

# 第1学年 道徳学習指導案

日時

場所

1年1組教室

授業者

1 主題名 自分との付き合い方を考えよう

2 資料名 自分の性格が大嫌い！

3 主題構成表

## ■内容項目

A- (3) 向上心、個性の伸長

自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。

## ■価値の分析

- 個性を伸ばすとは、固有の持ち味をよりよい方向へ伸ばし、より輝かせることである。自分自身で嫌だと思っている所も、見方を変えて磨きかけることで、輝く個性になり得るのである。前向きな取組を繰り返す中で、おのずと体得される。
- 中学生のこの時期は、自己理解が深まり、自分の在り方や性格についての関心が高まってくる。その一方で、他人と比較して劣等感を抱いたり、性格に思い悩んだりすることが少なくない。
- 本時を通して自分との付き合い方（自己との対話）を考える習慣を身に付けることで、自尊感情を高め、向上心や個性を伸ばし、今後の生き方に生かしてほしいと考えた。

## ■内容項目から見た生徒の実態

- 部活動や係活動などで、自分の活躍の場が増え、やりがいを感じている生徒がいる一方、思うように成果が出ず、行き詰まっている生徒もいる。
- 自分のよさに気付きつつも、他人と比較し、気持ちが揺れ動いている生徒もいる。
- 学習面や性格において、他人と比較して、劣等感を感じることがあり、自分のよさをさらに伸ばしたり新しいことに挑戦したりする意欲が低い。

## ■要因

- 部活動や係活動などで、自分がやりたいと思っても仲間の協力を得られない場合があり、臆してしまう。
- 理想の自分とかけ離れている場合があり、どうしてよいか分からない場合がある。
- 一小一中で人間関係が固定化されており、その中で自分を変えることがなかなかできないでいる。

## ■資料の分析

- 中村うさぎ氏の辛口エッセイである。作者の短所の捉え方や、人間のもっている「短所と長所」は裏表であり、自分の「短所と長所」の両方を公平に見つめることで人生が楽になるという主張は、生徒にとって、新鮮に感じるはずである。
- 長所は短所であり、短所は長所とも捉えられることに気付かせ、仲間と短所を長所に言い換える活動を通して、「自分にはこんなよいところがあるんだ。」と互いに気付き、自尊感情を高めることができる。
- 自分との付き合い方（自己との対話）を考える習慣を身に付けることで、自尊感情を高め、向上心や個性を伸ばし、自分らしい生き方を追求しようとする心情を育てたい。

## ■ねらい

「自分との付き合い方」を大切にしようとする作者の考えに共感し、自分のもっているよさや個性の発見に努め、それを肯定的に捉え、伸ばしていこうとする心情を育てる。

## ■展開の構想

- 自分の性格についてどう思うかを問い、価値の方向付けをする。
- 作者の自分の長所や短所の見方についての考え方に気付くことにより、自分の性格を前向きに捉えている作者の姿勢に共感する。
- 短所は、見方を変えれば長所とも捉えることができるという「自分との付き合い方」を覚えると、人生が楽になるとに気付き、自分のよさを深める。
- 今の自分の長所や欠点にどのように向き合うかを考え、個性を伸ばしていこうとする心情を育む。
- 導入部分で記入した自分の長所や短所、仲間とのリフレーミングを通して、これから自分の性格や特徴とどのように付き合っていきたいかについて、授業を通して考えたことを書く。

## ■基本発問（◎中心発問）

- 自分の性格について、長所と短所は何ですか。
- 「分かるなあ」「すごいなあ」と思ったところはどこですか。
- ◎「自分との付き合い方」を覚えると、人生が楽になるのはどうしてだろうか。
- 自分の短所は、見方を変えるとどのように言い換えられるだろうか。
- これから自分の性格や特徴とどのように付き合っていきたいかについて、授業を通して考えたことを書こう。

#### 4 道徳の時間(本時)と他の教育活動との関連

<場の内容・ねらい>

**■学校行事**  
「京都研修」  
・班活動を中心とした体験を通して、自分のよさや仲間との関わり方について考え、自己の内面を見つめ、行動することができる。

**■道徳の時間**  
「自分の性格が大嫌い！」  
内容項目 A- (3)  
・「自分との付き合い方」を大切にしようとする作者の考えに共感し、自分のもっているよさや個性の発見に努め、それを肯定的に捉え、伸ばしていこうとする心情を育てる。

**■学校行事**  
「合唱の集い」  
・合唱を創り上げる活動を通して、一人一人のよさや学級のよさを出し合い、仲間と認め合い、高め合うことができる。

**■学級活動**  
「自分の考えを知る(進路学習)」  
・自分の夢や希望の実現に向けて、自分自身を振り返るとともに、仲間との交流を通して、自分像をより明確にし、努力すべき点と努力の仕方を考えることができる。

**■日常生活**  
**<学習>**  
・学習課題を解決しようとする中で、仲間との学び合いを通して、自分のよさ、苦手なことを知ることができるようにする。

**<部活動>**  
・思い描いている理想の自分の姿と、現実の姿のずれに悩みながらも、新たな自分の可能性を伸ばしていきたいという意欲を高める。

**<生活の記録>**  
・生活の記録に自分なりの振り返りや考えを記述し、自分らしさを見いだし、より充実した活動ができるようにする。

**<委員会・係活動>**  
・それぞれの活動における他者との関わり合いの中で、自分らしさを見いだし、より充実した活動ができるようにする。

<生徒の意識>

・仲間から自分のよさを聞き、少し自分に自信が持てるようになった。  
・自分の得意なことを活かして、さらに仲間との関わりを深めていきたい。

・自分自身が嫌だと思っていた所も、見方を変えて努力してプラスの個性にしていきたい。  
・自分の短所も長所と捉えられることを知り、これからも自分の個性を伸ばしていきたい。

・他学年との交流で、自分のよさを認められてさらに頑張ろうと意欲が湧いてきた。  
・仲間との関わりを通して、自分自身のよさをさらに伸ばしていきたい。

・将来なりたい職業に向けて、長所をさらに伸ばすために努力していきたい。  
・経験したことのない役職や興味のある係に挑戦して、新しい自分のよさを見つけてみたい。

<指導・援助>

・生活の記録や学級活動で、一人一人のよさや自ら進んで行動する姿を価値付ける。  
・自分の優れている面などの発見に努めさせる。

・自分の優れている面を仲間から認めてもらえるように帰りの会で交流し、価値付ける。  
・自分にはよいところがあることに気付かせ、個性を伸ばしたいという意欲を高める。

・仲間との関わりの中で、自分のよさを発揮できるように、思いを伝えた生徒を認める。  
・自分の長所が仲間のためになった行動を紹介し、実感させる。

・自分自身のよさや個性を見いだし、いこうとする生徒を価値付ける。  
・自分の思いを語り、仲間と共に活動する姿を認め、向上心をさらに伸ばす。

5 本時の展開

	基本発問と予想される生徒の反応	指導・援助
導入	<p>1. 価値に関わる自分の感じ方・考え方をもつ。</p> <p>○自分の性格について、長所と短所は何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長所 熱中できる いつでも笑顔 優しい 根気がある 最後までやりきる</li> <li>・短所 短気 さわがしい 後回しにする 飽きっぽい 優柔不断</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の長所や短所がすぐイメージできるように、目頃からの「よさみつけ」を継続的に行っていく。</li> <li>・一人一つではなく、複数の長所や短所をワークシートに書かせる。</li> </ul>
展開前段	<p>2. 資料「自分の性格が大嫌い！」を読み、話し合う。</p> <p>○「分かるなあ」「すごいなあ」と思ったところはどこですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な性格は変えられない。</li> <li>・「おこりっぽい」性格が嫌になっている。</li> <li>・公平な使い方をする客観的な視点をもてる。</li> <li>・「短所」と「長所」は裏表の関係になっている。</li> <li>・短所の裏の長所を見つけることで短所も受け入れられる。</li> <li>・作者は、自分の「短所」や「長所」をよく分かっている、うまく付き合っている。</li> </ul> <p>◎「自分との付き合い方」を覚えると、人生が楽になるのはどうしてだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のよさを発見し、伸ばすことができるから。</li> <li>・他人にも優しくできるようになるから。</li> <li>・短所も自分の特徴の一つとして前向きに捉えられるから。</li> <li>・短所の裏にも長所があると考えると、自分に自信がもてるようになるから。</li> <li>・短所は、見方を変えれば長所とも捉えることができ、自分を好きになることができるから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の範読を聞きながら、「分かるなあ」「すごいなあ」と共感した部分に線を引かせることで、心が動いた部分を視覚的に示させる。</li> <li>・作者の考え方について、どう思うかについて問う。</li> <li>・性格はその人のもつ個性で基本的に直らないという考え方に共感させる。</li> <li>・作者の「自分の短所や長所」に関する考え方に共感させる。</li> <li>・「長所」や「短所」とうまく付き合うことは、自分とどのように付き合っていくのかということにつながることを気付かせる。</li> <li>・自分の考えをカードに書いてから、クラスで共有する。共有したカードをもとに交流し、多様な意見を取り入れて考えを深めさせる。(タブレット使用)</li> <li>・他の生徒の考えを知り、自分の考えと比べることで、充実した生き方についての考えを広げ深めさせる。</li> </ul>
展開後段	<p>3. 本時の学習を振り返る。</p> <p>○自分の短所は、見方を変えるとどのように言い換えられるだろうか。(個人→グループ活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さわがしい→明るい、社交的</li> <li>・短気→はっきりしている</li> <li>・優柔不断→よく考えている</li> </ul> <p>○これから自分の性格や特徴とどのように付き合っていきたいかについて、授業を通して考えたことを書こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私は、自分のはっきりしないところが嫌だと思っていたけれど、今日の授業を通して、はっきりしないということは、欠点ではなく、逆に優しい面にもなることが分かったので、気持ちが楽になった。そして、これからも自分のよさを伸ばして生活したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分を肯定的に捉えさせるようにする。</li> <li>・リフレーミング辞書を準備し、変換が難しそうな言葉について調べられるようにする。</li> <li>・導入で短所として挙げたことを個人やグループで考えさせる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【評価の視点】</b></p> <p>リフレーミングを通して、自分の性格や特徴に気づき、自分とのよりよい付き合い方を考えている。</p> </div>
終末	<p>4. 教師の説話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒のよかった姿を価値付けることを通して、自分もっているよさや個性の発見に努め、個性を伸ばしていく生き方をしようとする心情を育む。</li> </ul>